

春 告 草

第 41 号 平成 28 年 10 月 14 日 進路指導部発行

来年度国公立大

AO・推薦入試 過去最多 計 23,500 人 全定員の 2 割近く

文部科学省は10月4日、2017年度の国公立大学入試概要を発表した。

これによれば、入試を行う大学・学部数は、168大学579学部で、前年度より、2大学、4学部ずつ増えた。募集人員は、167人増の124,920人。内訳は国立大95,448人（312人減）、公立大29,472人（479人増）である。

また、AO（アドミッション・オフィス）入試と、推薦入試を実施する大学の数と募集定員は、ともに過去最多となった。受験生の個性や意欲などを総合的に評価し、入学者を決定したいという大学の意識は年々強くなっている傾向だ。

■AO入試枠は昨年比2割増、推薦入試枠は昨年並み

AO入試は、79大学で実施される。過去最多だった前年度に比べても4大学増え、定員も741人増の4,270人となった。首都圏では、埼玉大、千葉大、東京農工大、東京工業大、東京海洋大、お茶の水女子大、電気通信大、横浜国立大で実施される。

推薦入試は、前年度比1増、国公立大全体の95%、160大学で実施予定、定員は135人増の19,262人である。

右表に首都圏大学の募集区分別定員の一覧を掲載した。AO、推薦入試を合わせた募集定員は全国で23,531人、国公立大全体の募集定員124,920人の19%にあたる。

AO・推薦入試などの募集定員増加への提言（平成26年8月 国立大学協会「今後の国立大学の入学者選抜の改革の方向性について」）や、「1点刻みの試験ではなく、志願者を多面的、総合的に評価しようという大学が増加している」の分析（文科省担当者）にもあるように、AO・推薦入試の募集枠は、今後も拡大が見込まれる。

	前期	後期	AO・推薦
埼玉大	982	413	125
千葉大	1,750	397	168
東京大	2,960	0	100
東京医科歯科大	217	0	29
東京外国語大	594	109	12
東京学芸大	721	163	126
東京農工大	529	222	70
東京芸術大	471	0	0
東京工業大	886	35	107
東京海洋大	259	114	53
お茶の水女子大	328	53	71
電気通信大	370	250	100
一橋大	840	80	15
横浜国立大	890	510	206
埼玉県立大	197	40	158
千葉県立保健医療大	108	0	72
首都大学東京	1,034	214	305
横浜市立大	575	0	265
神奈川県立保健福祉大	100	15	98

■2017年度入試における新規実施大学・学部

千葉大・国際教養学部、東京海洋大・海洋生命科学部、横浜国立大学・教育学部、経営学部、経済学部、都市科学部（※）では新規にAO入試が実施される。

また、お茶の水女子大学は従来行っていたAO入試を見直した「新フンボルト入試」をスタートさせた。一次選考の前に行われる2日間のプレゼミナールには高校2年生の参加も可能。次年度の入試に備えた出願を考えている高校2年生（中等5年生）にとっては、入試本番へ向けて絶好の機会だが、今年度分に関しては既に終わっている。（次ページの記事参照）

※横浜国立大学都市科学部…第38号に掲載したとおり、平成29年度新設予定の新学部である

お茶の水女子大で新型ＡＯ入試「新フンボルト入試」を開始

(大学ホームページより)

世界最初の近代大学であるベルリン大学の基本構想を創ったヴィルヘルム・フォン・フンボルトにあやかり、お茶の水女子大学はこの入試を「新フンボルト入試」と名付けました。研究中心主義のドイツ近代大学では、文系は図書館、理系は実験室でゼミナールをすることが重視され、大学は知識を吸収する場ではなく知識を生産する場として構想されました。このフンボルトの理念を、そのまま入試のプロセスに反映させたのが『お茶大発 新型ＡＯ入試（新フンボルト入試）』です。 現行のＡＯ入試は、日本語と英語による講義の受講とレポート作成、討議などからなり、本学では最も難関な入試でしたが、初等中等教育における能動的な学習の進展にも配慮し、また能力の多面的な評価を一層進めるため、今回の入試改革に踏み切りました。「新フンボルト入試」は、自ら問題を発見する主体性のある学生、応用力や「のびしろ」（ポテンシャル）のある学生を選抜することを目的としています。

選考に先立って二日間にわたるプレゼミナールを開催し、情報検索やレポートの書き方を含む複数の授業を受講してもらいます。プレゼミは、高大接続のため、受験生のほかに高校2年生及び高校教員にも開かれたものとし、その後プレゼミナールのレポートやTOEFLなどの外部外国語試験を活用した書類による第1次選考を行い、第2次選考では、1日目が文理共通で英語の模擬授業を受講しレポートを作成、2日目・3日目は文系受験生には図書館、理系受験生には実験室を主な舞台として、レポートの作成、発表、討論や面接を行い、情報探索力、的確な実践力などを多面的に評価する計画です。

定員は、現行のＡＯ入試の10名から20名に倍増させることを予定しています。試験に合格した「とがった」学生たちが入学後に周囲にもたらず波及効果も期待しています。

■2018年度以降の入試において実施予定の大学

一橋大が2018年度入試(現5年生受験)

から全学部で推薦入試を行うことは、すでに第36号でお知らせした。募集人員は全体で50名。これにより、商学部、法学部、社会学部の後期試験は廃止される。出願要件、選抜方法等については、大学HPに掲載されている。

平成30年度 一橋大学入学選抜

学部	学科	入学定員	募集人員		
			前期日程	後期日程	推薦入試
商学部	経営学科 商学科	275人	260人	－	15人
経済学部	経済学科	275人	200人	60人	15人
法学部	法律学科	170人	160人	－	10人
社会学部	社会学科	235人	225人	－	10人
総 計		955人	845人	60人	50人

国公立大学のＡＯ・推薦入試

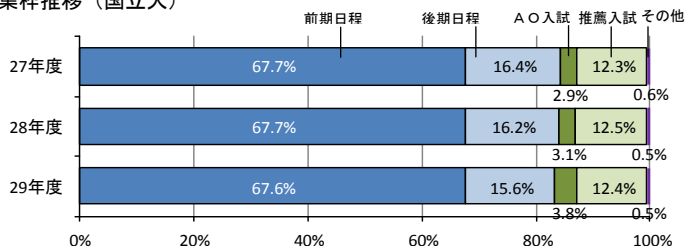
国立大学に比べ公立大の推薦入試実施大学の割合は高い。

昨年からの推移グラフでは国立大学のＡＯ入試新規実施の増加が目立つ。

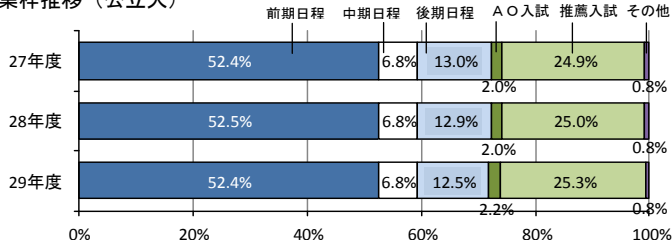
私大の一部では推薦入試、ＡＯ入試入学者の学力低下が懸念されているが、国公立大学では、お茶の水女子大学が新フンボルト入試入学者への期待にもあるように、入学後の調査で高い評価が得られているようだ。

推薦やＡＯがあるからと、大学を安易に選択するようでは困るが、第一志望大学にその募集枠があるのであれば、挑戦する価値はあるのだろう。

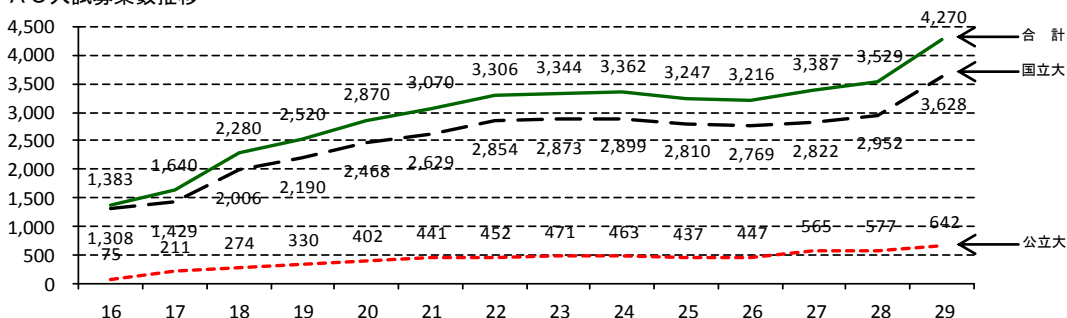
募集枠推移（国立大）



募集枠推移（公立大）



ＡＯ入試募集数推移



頑張れ6年生 センター試験まで99日

しばらく不順な天候が続いたが、中間試験も終わりやっと爽やかな季節になってきた。読書の秋、勉学の秋、スポーツの秋、…この時期を形容する言葉はいろいろあるが、勉学面では実りの秋を迎えてもらいたいものだ。

6年生にとってはいよいよこれからが、実力が伸びる時期である。6年生になってからは既卒生も受験する中での模試受験。なかなか思うように成績が伸びず、勉強法が間違っているのではと、思い悩んだ時期もあったのではないかと推察するが、教科書の内容が一通り終わるこれからが、現役生が実力を伸ばしていく時期なのである。

右図は、4月と9月に行った模試結果である。4月、9月の判定結果を集計、比較しているが、良い判定が着実に増加している様子が分かる。

図1は志望した国公立大学全体を集計したもの。9月模試ではC判定以上の割合がほぼ倍増している。

図2は早慶上理 GMARCH の集計である。A判定が出ていないのは残念だが、難関私大にターゲットを絞っての志望校判定の結果と解釈している。それでもC判定の割合が増加していることを大いに評価したい。

センター試験まで100日を切った。これまでよりも更に密度の濃い勉強が必要となるだろう。決して焦らず、これまでの取り組みに自信を持って勇気をもって前へ進んでいって欲しい。

図1・国公立大学志望校判定推移

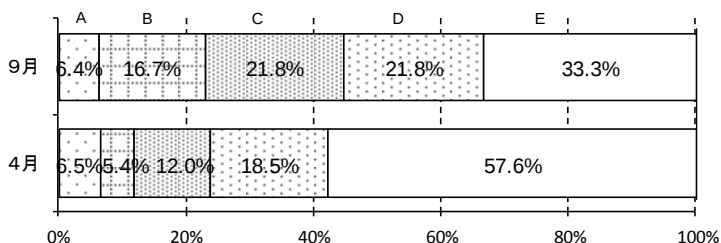
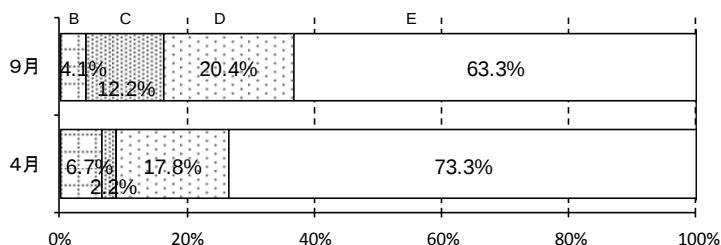


図2・早慶上理 GMARCH 志望校判定推移



センター試験出願終わる

平成29年度大学入試センター試験の出願受付が10月7日（金）に締め切られた。受付最終日の出願状況は表の通りで、締切日の消印受付分を加えて出願数が確定する。

本校6年生は148名が出願した。

受験教科登録状況等は下表に示す通りである。

	今年度	昨年度
出 願 総 数	540,359 人	531,880 人
高等学校等卒業見込者	452,961 人	446,121 人
高等学校卒業者等	87,398 人	85,759 人
確 定 志 願 者 数	—	563,768 人

(大学入試センター発表)

■受験教科登録状況

教科	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語（英語）
登録数	144 人	136 人	105 人	93 人	147 人

■地歴・公民 登録科目数

A 1科目	101 人
B 2科目	35 人

■理科 登録内訳

A 理科①	41 人
B 理科② 1科目	6 人
C 理科①+理科② 1科目	2 人
D 理科② 2科目	44 人

模擬講義で大学の中身を知ろう

11月8日、10日に、大学模擬講義が行われる。対象は4年生、5年生だが、6年生の参加も可である。

1日目・11月8日（火）

学問系統	講師所属大学	講 座 内 容
歴史学	学習院大学	「高校の『歴史』と大学の『歴史学』」、高校で学ぶ「歴史」と大学で学ぶ『歴史学』は何が異なるのでしょうか。中国の秦漢時代を例に考えてみましょう。
法学	上智大学	未定
経済学	法政大学	「国際マーケティングで楽しく学ぼう：東南アジアで日本のテレビを売ろう」 あなたはベトナムに一人で行き、東芝のテレビを売るために社長になりました。何から始める？ライバルに負けない方法は？本当にあった事例からマーケティングを分りやすく楽しく紹介します。自分のアイデアを試そう！
教育学	東京学芸大学	「教師は五者たれ ―教職の意義等に関する科目第1回―」 教師の仕事の多様性を表す「教師は五者たれ」という言葉があります。戦前から誰言うともなく語り継がれてきた教師の仕事の多様性を「〇者」と呼ばれる他の職業に喩えて端的に表現した格言です。教師の仕事が一層多様化したせいか、大学の教員養成課程でこの格言に触れられることは稀ですが、これら五つは今なお教師の仕事であり続けています。これら五つの「者」についての解説を通じて、それらの多様な仕事がみな授業という学校教育の中心にかかわっていること、小学校と中学・高校の間でウェイトの置き方が異なっていることをお話し、教師という仕事のイメージをつかむ支援をします。教員養成課程の必修科目「教職の意義等に関する科目（東京学芸大学での科目名は「教職入門」）」第一回の講義から厳選した内容です。なお、講義内容の一部に、教育学部（教員養成課程）のカリキュラムの概要に関する紹介を含みます。
生命科学	東京海洋大学	「資源としての“魚”の話」 海は多くの資源の宝庫である。魚は生物資源として海から得ることができる。しかし、利用の仕方を間違えれば、将来に利用できる資源は枯渇することとなる。本授業では、海洋資源管理の基本的な考え方を紹介し、資源管理をするうえでの基礎知識について説明する。特に生物資源の特徴である再生産、死亡（自然死亡、漁獲死亡）、成長に関する紹介をしたのちに、時間が許せば最近の資源管理の状況について紹介する。
電気通信工学	電気通信大学	「ヒトのように考える仕組み」 ロボットをコントロールする一手段としてのニューラルネットワーク、その仕組みを生体計測しながら紹介します。 【キーワード】計測、筋肉、ニューラルネットワーク
農学	東京農業大学	「野菜の種類と機能について」 野菜にはどのようなものがあるか、日本にどのように導入され生産技術が発達してきたかについて紹介する。また、野菜の持つ様々な機能についても概説する。
芸術学	武蔵野美術大学	「油絵学科・絵画組成室の授業とは」・顔料の特徴・プレスコからテンペラを経て、油彩が確立するまで・15～17世紀の絵画技法の変わっていく様・静物画とは何か、その意味について・風土生得的に生まれてくる技法（描き方＋考え方）の意味・表現とは

2日目・11月10日（木）

学問系統	講師所属大学	講 座 内 容
外国語学 外国文学	東京外国語大学	「ことばを学ぶ面白さ」 “ことば”を学ぶことは、どういうことなのか、“ことば”を学ぶことによって、どのようなことが得られるのかなど、“ことば”を学ぶ魅力について日本語や英語、インドネシア語を例に取りつつお話しします。インドネシア語はなじみが薄いかもしれませんが、言語そのものについても、インドネシアの文化や日本との結びつきといった面からも、学びがいのある言語です。インドネシア語の面白さ、“ことば”を学ぶ面白さの一端に触れられればと思います。
経営学・商学	成蹊大学	「現場力にもとづく着実な未来づくりのために必要なこと」 日本企業は経営環境の変化に直面しつづけています。たとえば日本の電機業界は、高度成長期から1990年代前半にかけて、高い国際競争力を獲得してきましたが、1990年代後半から2010年代にかけて、景気変動や円高、新興国企業による低コスト攻勢などに直面し、業績不振に陥っている企業も見受けられます。このように、厳しい経営環境のもとで、日本の生産現場は競争力を発揮し続けていくことができるのでしょうか？日本企業を対象とした調査結果を紹介しながら、企業や工場レベルでの戦略のありかたについて、一緒に考えていきます。
社会学	国際基督教大学	「メディア表象のケース・スタディ」 私たちの生活を日々取り巻くメディア。私たちはメディアに触れ、そこから流れてくる情報を資源として、自分の世界を意味づけている。しかし、その情報は必ずしも事実を伝えているとは限らない。本講義では、日常的なスポーツ報道を事例に、メディア表象がもつ力を考えている。 （※昨年は全て英語による講義でした）
理学	首都大学東京	芳香族化合物（ベンゼン誘導体）への求電子置換反応がどのような機構で起こるのか、また一置換ベンゼンに対して更に置換反応が起こるときにどのような位置で起こるのかについて、理由と共に講義する。
機械工学	東京理科大学	「機械工学科における流体力学」 空気や水、いわゆる流体の運動を、大学での講義の一部を紹介しながら説明する
看護学	杏林大学	「いのちと生活を見る看護（在宅看護とは）」
栄養学	女子栄養大学	「栄養学の魅力」生活習慣病を予防し、健康な生活をしていくために必要な栄養学。その栄養学の魅力についてお話しします。
体育学	筑波大学	未定